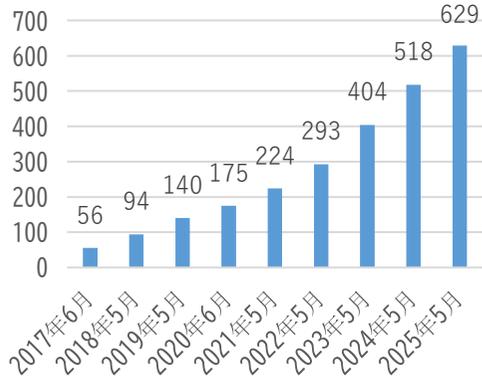


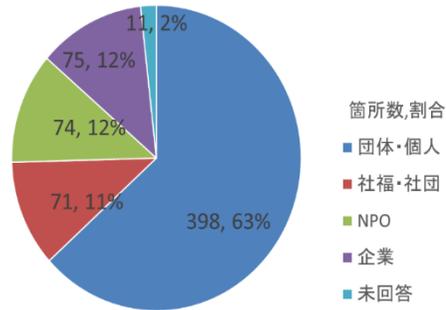
# ◇データで見るあいちの子ども食堂

(2025年5月1日現在)

## 【開設数】

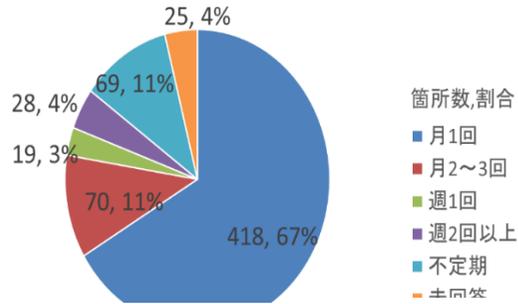


## 【運営主体】



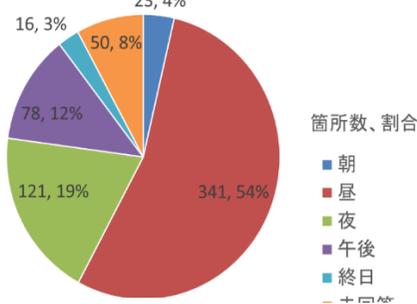
半数以上が任意団体により運営されています。

## 【開催頻度】



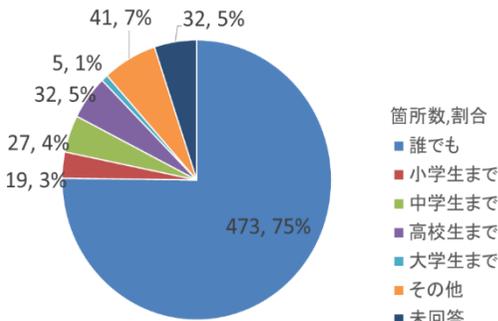
6~7割が月1回の開催頻度で、週1回以上の開催は1割程度となっています。

## 【食事の提供時間】



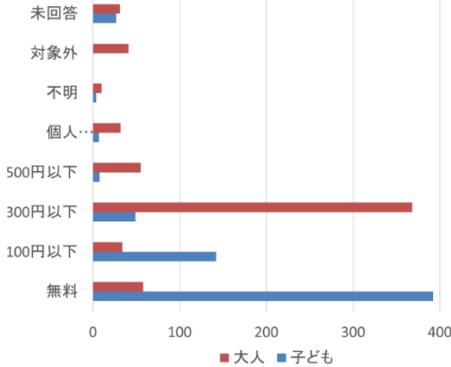
食事の提供時間帯は昼食が半数を占めています。

## 【参加対象者】



誰でも参加できる子ども食堂が7割以上を占めています。

## 【料金設定】



子ども料金は6割程度の子ども食堂が無料としており、大人の料金は7割程度が300円以下で設定しています。



## INDEX 目次

## 子ども食堂とは

地域の人たちが子どもたちに無料又は低額で食事を提供し、一緒に食事をする事で子どもの孤立を防止するとともに子どもの健やかな成長を促すことができる取組です。

## P 3 はじめに

愛知県による子ども食堂支援

## P 4 実例に見るあいちの子ども食堂 CASE1

子ども食堂ほっとライス（刈谷市）

## P 6 実例に見るあいちの子ども食堂 CASE2

まめっ子（岡崎市）

## P 8 実例に見るあいちの子ども食堂 CASE3

ふれあいこども食堂たばたん♪（名古屋市北区）

## P 10 あいち子ども食堂応援ステーション

のわみ相談所（一宮市）

## P 12 立ち上げのStep1~12

話合い⇒会場探し⇒スタッフ集め⇒見学⇒計画⇒資金集め⇒器材

・食材集め⇒届出⇒リスクへの備え⇒広報⇒開催⇒ふりかえり

## P 16 データで見るあいちの子ども食堂

開設数・運営主体・開催頻度・食事の提供時間・参加対象者・料金設定

## はじめに

この冊子は、5年以上子ども食堂を運営されている方の活動紹介を始め、フードバンクの役割を担う「あいち子ども食堂応援ステーション」の紹介、開設までの流れ、県内の子ども食堂の状況を掲載しており、子ども食堂をこれから開設しようと考えている方の一助となれば幸いです。

## 愛知県による子ども食堂支援

愛知県では、子どもが安心して通える居場所となる子ども食堂の取組が、県内全域で広がっていくことが望ましいと考えており、子どもが歩いて行ける範囲の身近な地域で子ども食堂が開設されることを目標に設置拡大に向け支援を行っています。

## ●子ども食堂推進事業費補助金

県民の皆様からの寄附金の受け皿として創設した「愛知県子どもが輝く未来基金」を活用して、費用助成を行っています。

開設経費の助成	子ども食堂の開設経費の一部として、会場となる住宅等の改修費用や物品購入費用を助成
物品等の更新費用の助成	子ども食堂を継続するための経費の一部として、一定期間活動している子ども食堂に対して、物品等の更新費用を助成
学習支援や体験活動費用の助成	子ども食堂で実施する学習支援や体験活動に必要な物品購入費用を助成

子ども食堂推進  
事業費補助金↓



## ●子どもの居場所づくり応援事業

愛知県社会福祉協議会と連携して、子ども食堂の開設や運営に関する相談窓口「子どもの居場所応援プラザ」の開設、子ども食堂マップの作成、子ども食堂向けの研修会の開催、「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」による情報発信、フードバンクの役割を担う「あいち子ども食堂応援ステーション」の設置など、子ども食堂を運営される方の後方支援を行っています。



# Case1 子ども食堂ほっとライス (刈谷市)



## ■開設について

### ●きっかけ

食に困っている、十分に食べられない子どもたちがいること、その子たちに食事のみならず地域の関わり、交流の場を提供したいと思ったことからスタートしました。

### ●理念

誰でも気軽に、お母さんたちの作ってくれる温かい食事をしながら、多世代交流のできる場所を提供します。

### ●相談先

市社会福祉協議会、保健所、あいち子ども食堂ネットワーク

## ■活動内容について

### ●主な運営メンバー

任意団体「みんなの居場所 ほっとライス」メンバーと関心のあるボランティア

### ●開催内容

毎月手作りの食事を子どもや父兄、またご近所の単身高齢者にも提供しています。食事の前後にはスタッフとゲームをしたりイベントを楽しんだりしてもらっています。

### ●参加者の様子

開設当初から食事のみならず各種イベント（体験ロスへの対応をもう一つの柱）を実施しており、食事を挟んでワイワイ、ガヤガヤ、地域の集まりとなっています。子ども会もなくなったところで地域の市民館関係者からは子どもの声が出て良いと喜ばれています。

- 主な小学校区  
小高原小学校
- 開設年月  
2018年10月
- 定員  
100人
- 開催頻度  
月1回
- 開催日  
毎月第4土曜日
- 開催時間帯  
昼食
- 参加費  
子ども100円（中学生迄）  
高校生以上300円

【HP】 <https://hotrice.sakura.ne.jp/top.html>



### ●気になる子どもがいたときどうしてる？

皆と交わるように意識しながら声掛けしています。

## ■運営について

### ●主な参集方法

ホームページやフェイスブックなどSNSで発信、地域の回覧板にチラシも入れてもらっています。

### ●スタッフの集め方

ボランティアで参加してくれた人に友人への声掛けを依頼したり、利用者として来場した人に今度は実施側をやらないかと声掛けしたりしています。

### ●食材等の確保

あいち子ども食堂応援ステーションなどの中間支援団体や近隣企業等から支援してもらっています。頂いた内容等については「ほっとライスだより」で月々の活動内容を報告しています。

### ●資金調達の方法

各種助成金の申請や企業等から支援してもらっています。上記同様「ほっとライスだより」で月々の活動報告を配布し、ほっとライスの存在をアピールしています。

### ●継続の秘訣

できる範囲で、身の丈に合った活動から始めること。併せて、こんなことをやっている、やっとなPRを兼ねて支援団体、企業等支援者に報告すること、これが支援の継続にもつながります。

## ■食事提供以外の取組

### ●学習支援・体験活動

子ども会活動がなくなり、色々なことを体験する機会が減っています。そこで支援企業や自分たちの企画で、子ども食堂開催日に食事を食べて終わりにするのではなく、季節のイベント事、家庭でもやらなくなっているようなこと、例えば七夕、ハロウィン、クリスマス、餅つき、豆まき等を実施しています。また、スマホでピコピコ、紙の新聞を読まない、本を手にしらないという、活字に触れる機会が減っていることから「ほっとライ斯拉ン」を開設し、まずは絵本から、本ってこんなに面白いんだよ！ということを実感する場を提供しています。

### ●フードパントリー

子ども食堂に来ない・来れないご家庭、ご家族があることにスタッフが気付き食材配達を始めましたが、希望者が増え配達対応ができなくなってきたため、ほっとライス本拠にて対面でお渡しするようになりました。その効果として、各ご家庭の状況に応じた支援ができるようになってきました。

## ■これから開設する人へのアドバイス

開設にあたっては先輩の食堂を複数見せてもらい、同時に参加して体験してください。各団体によって苦勞がそれぞれ違うので話をよく聞かれると良いと思います。

## Case2 まめっ子

(岡崎市)



### ■開設について

#### ●きっかけ

子ども会が無くなり、地域に商店も無い中、子どもや保護者が集まり、交流しながら情報交換できる場が必要だと考えました。

#### ●理念

地域の子育て中の親子と孤立しがちなひとり親を対象に子ども食堂を開設し、地産地消で「ばあばの手作り料理」を提供し、地域の触れ合いを深めることを目的としています。

#### ●相談先

市社会福祉協議会、市福祉部ふくし相談課、町内会、おかざき子ども食堂・みんなの食堂連絡協議会 “わーくろ”

### ■活動内容について

#### ●主な運営メンバー

子ども食堂に興味のあるボランティア

#### ●開催内容

地域の農家さんや市内の精肉店、卵店、米屋さんからご支援いただいた食材を主に使用し、デザートから漬物まで手作りをモットーにしている「ばあば食堂」です。17時15分スタートの会食は、ビュッフェスタイルで各自料理を取り分け、友達同士で食事をしています。食後は、会食会場でボール遊びやカードゲーム、お絵描きなど思い思いに遊んでいます。お母さんたちにとっても、お茶を飲みながらほっと一息し、雑談できるコミュニケーションの場となっています。

#### ●主な小学校区

本宿小学校

#### ●開設年月

2019年10月

#### ●定員

100人

#### ●開催頻度

月1回

#### ●開催日

毎月第3金曜日

#### ●開催時間帯

夕食

#### ●参加費

子ども無料（高校生迄）

大人 200円

【HP】 <https://onl.sc/Cf5UVYa>



#### ●参加者の様子

開設当時は40人ほどで食後の交流も少なかったです。その後、コロナウイルスが流行し、弁当配布に切り替えたところ口コミで広がり、多い時には120食を提供しました。現在は会食として100人ほどが参加し、ほぼ全員と顔なじみになり、子どもや保護者と交流していく中で、子どもの成長を共に喜び合う関係になっています。

#### ●気になる子どもがいたときどうしてる？

必要に応じて、弁当を届けたり、家庭訪問をしたりしていますが、学校や公共機関に相談するまでには至っていません。

### ■運営について

#### ●主な参集方法

インスタグラム、フェイスブック、公式LINE、SNS、地域の掲示板

#### ●スタッフの集め方

開設前に、活動内容や趣旨を話し賛同する仲間を13名募集しました。その仲間が継続しています。

#### ●食材等の確保

市内の農場、卵生産者、食肉業者さんから支援してもらっています。また、地元の農家さんに声をかけ、旬の野菜を譲り受けています。

#### ●資金調達の方法

企業、各種助成金からの支援を活用しています。助成金の情報は「わーくろ」で共有しています。

#### ●継続の秘訣

ボランティアなので、子ども食堂が自分たちにとって価値のある活動であるよう工夫しています。子どもの成長は早く、背も伸び、顔つきも変わります。その成長を保護者とともに喜び合います。また、ボランティア仲間との交流を楽しむことです。他の子ども食堂と情報共有も大切だと思います。

### ■食事提供以外の取組

#### ●学習支援・体験活動

夏休みには、学習会と集団遊びの会を行っております。8月はちびっ子クッキング、10月は芋ほり、11月はレクリエーション、1月は餅つき大会など、地域の人たちとも交流しています。

### ■これから開設する人へのアドバイス

近隣の子ども食堂を見学したり、手伝ったりして、子ども食堂の様子を学ぶと良いと思います。自分の地域の子ども様子や問題を見聞きし、どのような子ども食堂にするか決めたら、一番にボランティアさんの確保をしましょう。市の社会福祉協議会と連絡をとり、活動場所、宣伝方法、予算、調理道具、など一つひとつ解決していきましょう。

## Case3 ふれあい子ども食堂たばたん♪（名古屋市北区）

【HP】 <https://chu-ai.wixsite.com/tabatan>



- 主な小学校区  
金城小学校
- 開設年月  
2019年8月
- 定員  
80人
- 開催頻度  
月1回
- 開催日  
毎月1回週末開催
- 開催時間帯  
夕食
- 参加費  
子ども 100円（高校生迄）  
大人 200円

### ■開設について

- きっかけ  
ニュースで「孤食」の特集を見て、地域で何か出来ないかと考え、食事を通して交流できる場所を作りたいと思いました。
- 理念  
子どもを中心とした地域間の交流。また、子育て家庭の支援を目指して子ども食堂を開設しました。「人のため尽くす喜び広げよう」を合言葉に、子どもたちの心身共に健やかな成長と明るい未来を願って、スタッフみんなで活動をしています。
- 相談先  
区社会福祉協議会、近くの子ども食堂

### ■活動内容について

- 主な運営メンバー  
代表者を中心とした有志
- 開催内容  
メニューは毎回カレーライスにおかずを添えています。いつもたばたん♪のカレーを楽しみに皆さん来てくれています。参加は事前にメールで申し込み、17時半からと18時半からの2回制です。対象は子どもやそのご家庭、また金城学区在住の方は大人だけでもお越しいただけます。そして、食後はいろいろなレクリエーションを行い、楽しい時間を過ごしています。

- 参加者の様子  
はじめは慣れない中で不安そうな顔も、だんだんと場所と人に慣れて、新しい友達も出来てきて、毎回来てくれる子どもが増えてきました。学校などで友達と過ごすのが苦手な子ども、子ども食堂でのふれあいが貴重な体験になっています。
- 気になる子どもがいたときどうしてる？  
スタッフみんなで声を掛けるように心がけています。

### ■運営について

- 主な参集方法  
ホームページ作成やLINEのオープンチャットを活用して情報発信に力を入れています。また、会食の後にレクリエーションを行って、子どもたちや若いスタッフとで楽しい時間を過ごし、また来てもらえるよう努めています。
- スタッフの集め方  
知人、友人をはじめ、学生、子どもボランティアも募集しています。また、ホームページやSNSなどで広く呼び掛けています。
- 食材等の確保  
フードバンク、近くの企業、フードドライブを活用しています。つながりを大切に、幅広く声掛け、お願いをしています。
- 資金調達の方法  
愛知県、名古屋市、あいち子ども食堂ネットワークからの助成金や寄付を活用しています。最低限活動が回っていくように必要な費用を申請しています。
- 継続の秘訣  
子ども食堂の継続に必要な要素は数多くありますが、その一つひとつを丁寧につないでいくことです。参加者やスタッフに喜んでいただけるように120%の心を使います。

### ■食事提供以外の取組

- 体験活動  
お正月の巨大福笑いにはじまり、節分の豆まきや七夕イベントなど、季節の行事も積極的に取り入れています。
- あそびの広場、たばたん♪カフェ、フードパントリー  
子どもたちの地域の居場所づくりとしてあそびの広場や、お母さんたちが交流できるたばたん♪カフェを開催しています。経済的に特に困窮している家庭を対象にフードパントリーも行っています。

### ■これから開設する人へのアドバイス

無理をせず、出来る範囲ではじめていくと良いと思います。

# あいち子ども食堂 応援ステーション

## のわみ相談所 (一宮市)



- 拠点場所  
一宮市向山町 1-10-4
- 連絡先  
0586-72-9697
- 主なエリア  
一宮市、豊山町
- 認定年月  
2022年4月
- 食材を配布した子ども食堂数及び回数(2024年度)  
12箇所、144回
- 子ども食堂運営状況  
有：WAIWAI のわミー

### 活動内容について

- 主な人員体制  
正規職員スタッフ(本業と兼務)3名とボランティア6名で活動しています。
- 稼働日数や食材等の受け入れや引き渡し可能な時間帯  
平日9:00~19:00 土曜日9:00~16:00 日曜日9:00~19:00(対応可能な場合のみ)
- 食材等の受け入れや引き渡し方法  
食材提供の話があったら、電話やメール等で寄付者と日程調整し、届けていただくか、引き取りに行っています。これまで支援をいただいた寄付者には定期的な支援をお願いし、可能な範囲で毎週引き取りに行くようにしています。食材等の配布については、希望する子ども食堂に直接取りにきてもらっています。
- 食材等の保管設備状況  
自団体のフードバンク用倉庫が3部屋あり、冷蔵庫5台、冷凍庫9台を設置しています。賞味期限の月ごとに倉庫や棚を仕分け、期限内に配布が終えるよう管理しています。
- 子ども食堂への周知方法  
グループLINEで品目、数量、場所等の情報を周知しています。
- 提供食材の営利目的使用をさせないための取組  
はじめて食材を提供する子ども食堂に対しては、転売禁止等について説明し、その後はグループLINEや口頭で呼びかけて引き渡しています。
- 主な食材の提供元  
個人、企業、団体、農家、個人、フードバンク、県・市社会福祉協議会、行政、病院

【HP】 <https://nowami.jimdofree.com/>



### ■あいステ認定を受けて

毎日、認証でいただいたのぼりを立てて活動しているおかげで、社会的信用が増し、皆さんが安心して食品寄付をしてくれるようになりました。他のフードバンクや子ども食堂からも気軽に連絡が入るようになりました。

### ■今後の支援ニーズ(食材を求める声など)

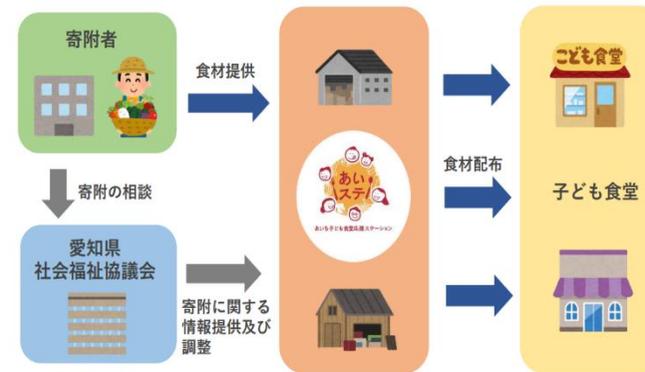
お米をはじめ、食品の物価高騰で、利用者が昨年の1.5倍に増え、子どもたちが満足する食生活を送れているか心配です。子ども食堂につながりそうなひとり親家庭等困窮家庭についても行政機関と連携して支援しており、ニーズは大きく増加していると感じています。

### ■これから子ども食堂を開設する人へのアドバイス

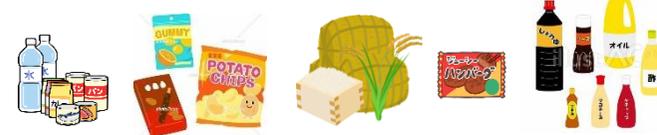
身近な子ども食堂のネットワークにつながって、補助金や助成金、フードバンク等の支援を受けて、気軽に長く続けられるように応援しています。

## あいち子ども食堂応援ステーション

企業等から提供を受けた食材を一時的に保管し、近隣の子ども食堂に受け渡す機能を有する地域拠点(通称:あいステ)のことであり、愛知県社会福祉協議会で認定しています。



※愛知県による補助



まずは、お近く又はお知り合いのあいステへご相談ください。なお、各あいステにおいて、活動内容が異なりますので、寄付食材の量・種類の状況等によっては、御希望に添えない可能性もあります。

あいち子ども食堂応援ポータルサイト



## はじめに

志を同じくする仲間を集めましょう。仲間は1人でも多い方が運営の継続につながります。運営と一緒に考え、責任感を持って取り組む仲間が3~5人は必要です。

## STEP 1 話し合おう!

メンバー同士の運営イメージが同じとは限りません。具体的にどんな運営イメージを持ったかを出し合い、どんな内容の子ども食堂をやりたいかを話し合っ

## STEP 2 会場を探そう!

長く続けるためにも、自宅や公民館、社会福祉施設、喫茶店の店舗など、安価もしくは無償で貸してくれるところを探しましょう。また、開設する場所や地域の状況を確認しましょう。

## ●チェックリスト

- 子どもが訪れやすい場所ですか
- 駐輪場や駐車場を確認しましたか
- 開設する地域で子どもや高齢者の方などがどのくらい住んでいるか確認しましたか

## STEP 3 スタッフを集めよう!

ボランティアセンターやNPO支援センターのサイトなどを利用して、一緒に活動してくれるスタッフを集めましょう。

## ●たとえば

- 友達や知り合いにお願いします
- チラシを作って募集しましょう
- SNSを使って募集しましょう
- ボランティア募集サイトへ登録しましょう
- ボランティアセンターなどに相談しましょう

## STEP 4 見学に行こう!

子ども食堂を運営している団体はたくさんあります。メンバーと一緒に子ども食堂を見学して、どのように運営しているか話を聞きましょう。

## ●聞き取りポイント

- 仲間はどのように集めましたか
- 資金はどのように集めましたか
- 会場はどのように探しましたか
- 器材はどのように集めましたか
- 食材はどのように調達していますか
- 広報はどのようにしていますか

## Step 1 話し合いのポイント

- ・誰に食事を提供したいか
- ・どこで開催したいか
- ・開催日、開催頻度はどうしたいか
- ・食事以外に何をしたいか
- ・運営方法はどのようにするか
- ・どんな名称がいいか

## Step 2 会場探しのポイント

- ・調理器材がそろった施設が使えると、機材の調達や運搬が楽になります。
- ・地域の店舗などは、知り合いを通して聞いてもらうといいでしょう。そのために、運営に参加するメンバーをたくさん集めると、助けてくれる知り合いが増えます。

## Step 3 ボランティアの募集

■子どもの居場所づくり、ボランティアについての相談先

社会福祉法人  
愛知県社会福祉協議会  
ボランティアセンター内  
子どもの居場所応援プラザ  
愛知県名古屋市中区白壁  
1丁目50番地  
愛知県社会福祉会館2階  
TEL 052-212-5504  
FAX 052-212-5505  
mail info@aichivc.jp

愛知県社会福祉協議会  
ボランティアセンター



## Step 4 子ども食堂を調べる

愛知県内の子ども食堂の情報がわかるマップで、どこで開催しているか調べることができます。

あいち子ども食堂情報



## STEP 5 計画を立てよう!

みんなのイメージがまとまったら、いつ、どこで、誰を対象に、いくらで、何人分の食事を提供するか具体的に文章に起こして計画を立ててみましょう。

## ●計画チェックリスト

- 対象者や対象地域を決めましたか
- 開催の頻度や曜日、時間を決めましたか
- 開催場所の候補をあげましたか
- 料金設定を決めましたか
- 資金集めの方法を決めましたか
- 調理器材や食材の調達方法を決めましたか
- SNSやチラシなどの広報の方法を決めましたか
- メンバーの役割分担を決めましたか

## STEP 6 資金を集めよう!

食材費や会場費以外にも、備品購入費、広報費、消耗品費などに資金が必要となります。寄付や助成金、補助金など資金調達しましょう。

## ●チェックリスト

- 有志の方に寄付を募りましたか
- 助成金を探しましたか
- 通帳を作りましたか
- 帳簿を作りましたか

## STEP 7 器材や食材を集めよう!

調理器具や食器を貸してくれる方、あるいは寄付してくれる方を探しましょう。地元の農家や企業、フードバンクから食材の提供について呼びかけをしましょう。愛知県社会福祉協議会で認定している「あいち子ども食堂応援ステーション」も活用できます。

## ●チェックリスト

- 調理設備のある施設に聞いてみましたか
- SNSを使って呼びかけましたか
- 子ども食堂関連の情報を手に入れましたか

あいち子ども食堂応援ポータルサイト



## Step 5 計画立案のポイント

意見を出し合った後で、今いるメンバーで、「できること」から決めていきましょう。また、「できないこと」もメンバーが増えたと行えるようになるため、メンバー集めは一番大切なことです。

子ども食堂は地域の居場所として、子どもに限定しないで、食事を提供しているところはたくさんあります。事例を参考にしましょう。メンバーが参加できる曜日や時間、頻度などから候補日を絞り込んでいくと日程が決めやすくなります。地域の学校行事も把握しておくといでしょう。

メンバーで会場候補を出し合い、手分けをして会場探しをするとよいでしょう。

子ども料金は、無料から300円までとさまざまあり、安ければ提供数を減らしたり、大人料金を高くするなどの工夫が必要です。

資金集めは、寄付や助成金、補助金、利用料など複数の方法で行いましょう。

調理器材や食材は、友達や知り合いを通して声をかけるといいでしょう。

## Step 6 助成金を調べる

愛知県社会福祉協議会のボランティアセンターのサイトで、愛知県内や全国の助成金を調べることができます。

助成金の申請には団体の通帳が必要です。助成金の申請も、通帳の作成も、規約が必要となる場合があります。

また、愛知県では子ども食堂の開設費用及び物品等の更新費用、子ども食堂で行う学習支援や体験活動等に必要な物品等の購入費用について、補助金を支給しています。

助成金情報



愛知県子ども食堂推進事業補助金



## STEP 8 関係機関への届け出を確認しよう!

飲食の提供や火器を使用する場合は、保健所や消防署の許可や登録が必要になる場合があります。届け出の必要があるかどうかを確認しましょう。

## STEP 9 リスクに備えておこう!

### ■食品寄附ガイドラインを確認しよう。

安全管理や提供時の注意、トレーサビリティ、事故時の対応、情報管理、財務管理・情報開示、災害時における対応などを記載しています。

### ■食中毒を予防しよう!

食中毒が発生しないようにするために、事前に保健所に連絡をして助言を受けましょう。

#### ●食中毒予防のポイント

##### 【調理前に行うこと】

- 調理施設は清掃や整理整頓を行いましたか
- トイレは清掃、消毒を行いましたか
- 下痢・嘔吐や手指の傷などはありませんか
- エプロンや三角巾、マスクなど、清潔な作業着を身につけ、手洗い、消毒を行いましたか
- 子どもが調理に参加する場合は、手洗い、消毒を徹底させましたか
- 原材料は、仕入れ時に賞味期限等を確認し、1回で使い切れる量を仕入れましたか
- 献立や食材の仕入れ先、仕入れ時間の記録(レシートなど)は保管しましたか
- 仕入れた食品は冷蔵庫や冷凍庫で保管していますか
- 生肉や鮮魚介類などの食品は他の食品を汚染しないよう区別して保管しましたか
- お年寄り、幼児、妊婦などの抵抗力が弱い方が食べる場合メニューに生ものは入っていませんか

##### 【調理中に行うこと】

- 魚介類、野菜・果物は流水でよく洗いましたか
- 別の原材料を調理する場合などは、手洗い、消毒を行いましたか
- 調理器具を洗剤で洗浄してから使いましたか
- 食品(特に肉類)は、中心部までよく加熱(中心温度75℃で1分間以上)しましたか
- 生の食材を扱う調理器具と加熱済みの食品に使用する調理器具は専用のものを使用しましたか

##### 【調理後に確認すること】

- 調理後は、時間を置かず提供しましたか

### 食品寄附ガイドライン



## STEP 8 Step 9 保健所を調べる

保健所(名古屋市内は保健センター)では、子ども食堂の立ち上げにあたっての調理場等の衛生管理に係る助言を受けることができます。事前に訪問して開催にあたって、食品衛生に関する知識を得ておくといでしょう。実施場所を管轄する保健所(名古屋市内は保健センター)にご相談ください。

### 愛知県の保健所



### 名古屋市の保健センター



### 豊橋市の保健所



### 岡崎市の保健所



### 一宮市の保健所



### 豊田市の保健所



#### ●チェックリスト

- 保健所に確認しましたか
- 消防署に確認しましたか

## STEP 9 保険を調べる

### ■ボランティア保険に入ろう!

ボランティア活動保険とボランティア行事保険は、各市町村の社会福祉協議会で、加入手続きが行えます。最寄りの社会福祉協議会のボランティアセンターでご確認ください。対象とならない活動や、保険金が支払われない場合がありますので下記の QR コードを開いてボランティア保険の URL で詳細を確認してください。

### ボランティアセンターボランティア保険



## STEP 10 広報しよう!

対象者に開催を伝えるためには、最低でも1か月前から広報をはじめましょう。チラシやSNSなどの広報物に必要事項が入っているかを確認しましょう。

#### ●必要項目

- 開催日の月、日、曜日、時間
- 開催場所の住所、施設名、地図
- 開催内容やメニューなど
- 注意事項
- 料金
- 主催者名、連絡先、申込方法
- 食物アレルギー対応の可否

### ■食物アレルギーへの対応を検討しよう!

アレルギーを持つ方への対応について、緊急時の対応も含め、計画の段階でよく検討しておきましょう。食物アレルギーについて特別の対応を行わない場合は、事前にその旨に参加者に情報提供するようにしましょう。

## STEP 11 開催しよう!

開催に当たっては、前日までに準備ができているかを確認するためのチェックリストを作って、複数名で確認作業をしておくといでしょう。

#### ●準備例

- まな板や鍋などの調理道具のチェックリスト
- お皿やお箸などの食器類のチェックリスト
- マスクやビニール手袋などの備品チェックリスト
- 塩や油などの調味料のチェックリスト
- 食材のチェックリスト
- 当日スタッフの役割分担表
- 下痢や風邪などスタッフの健康チェックリスト
- 看板や献立表、アンケート用紙 食物アレルギーの確認表

## STEP 12 ふりかえりをしよう!

早めにアンケートをまとめて、スタッフの記憶が新しいうちに「ふりかえり」、みんなで話し合っ、次回の開催に活かしましょう。

#### ●たとえば

- 良かったこと
- 困ったこと
- 気がついたこと
- 当日、利用者から聞いた声
- アンケートの内容

## STEP 10 広報のポイント

地域の人に見てもらうために、チラシの配布や掲示をいろいろなところに依頼しましょう。

- ・町内会や自治会の回覧板
- ・民生委員・児童委員に依頼
- ・小学校でチラシの配布
- ・スーパーや喫茶店などの各種店舗
- ・社会福祉協議会ボランティアセンター
- ・NPO支援センター

## STEP 11 開設のポイント

本番の開設前に、地域の方や関係者を集めてプレオープンするとよいでしょう。

- ・プレオープンすることで、地域の人に理解を広めることができます。
- ・調理道具や食材の過不足の確認、当日スタッフの役割や段取りの不備の確認も行えます。
- ・参加者にアンケートを取ることで、課題や要望などのアドバイスをいただけます。
- ・プレオープンで、募金や食材の寄付、ボランティアを募ると支援の輪を広げていくことができます。

## STEP 12 お役立ち情報

子ども食堂への食材寄付等に関する相談先  
社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会  
地域福祉部

愛知県名古屋市中区白壁 1丁目50番地  
愛知県社会福祉会館3階  
TEL 052-212-5502 FAX 052-212-5503  
E-mail [chiiki@aichi-fukushi.or.jp](mailto:chiiki@aichi-fukushi.or.jp)

子ども食堂に関する全般的な相談先  
愛知県福祉局児童家庭課  
子ども未来応援グループ  
愛知県名古屋市中区三の丸3丁目1-2  
西庁舎3階  
TEL 052-954-7468 FAX 052-971-5889  
E-mail [jidoukatei@pref.aichi.lg.jp](mailto:jidoukatei@pref.aichi.lg.jp)